

全国の信金役員 「復興酒」仕込み

福島で各地のコメ使い

東日本大震災からの復興支援として、47都道府県のコメを使った日本酒「絆舞」を造る福島県会津坂下町の曙酒造で、大垣西濃信用金庫など福島県内外の信用金庫役員らが法被姿で仕込みに参加した。売り上げの一部は被災自治体に寄付する。職員らが作業を手伝うのは新型コロナウイルスの影響で3年ぶり。

岐阜など全国253の信用金庫が協賛。250地域

47都道府県のコメを使った日本酒「絆舞」の仕込みをする信用金庫の職員ら。22日午前、福島県会津坂下町



からコメが集まった。今年は県内外16の信金役員が蒸したコメを運び、權棒(ごんぼう)を使っている中で水やこうじとかき混ぜた。

水の代わりに酒で仕込む貴醸酒など製法の異なる3種類を計約1万2千本生産する。12月6日に発売予定で、1本につき100円を被災地に寄付する。